

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調整費

事業名 海外陶芸美術館との交流事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

現代陶芸美術館 総務部 管理調整係 電話番号：0572-28-3100(内103)

E-mail：c21802@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 45,454 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	45,454	16,412	0	3,283	0	0	0	0	25,759
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

・当館はその活動理念に「国際的な情報を提供して、陶磁器産業の発展に寄与する」ことを掲げている。この方針のもと、過去には海外の陶磁器文化を紹介する展覧会の開催や、海外の陶磁器専門館との文化交流 (H17 台湾・鶯歌陶磁博物館との文化交流協定締結) を行い、陶磁器に関わる国際的なネットワークの形成と情報提供に努めてきた。

・R3年度、上記方針のもと当館が開催した「台湾現代陶芸の力」展を鑑賞した駐日ハンガリー大使より、岐阜におけるハンガリー現代陶芸展開催の提案を受けた。これを受け、R4年度には当館館長と学芸員がハンガリー現地での作品調査と相互交流に関する協議を行った。相互交流の内容として、R6年度以降ハンガリー国内での日本現代陶芸展の実施も計画されている。

・展覧会の開催を通じ、岐阜・ハンガリーの陶磁器文化の相互交流を行うことで、岐阜県の陶磁器文化の活性化及び世界への発信・知名度の向上が期待できる。

(2) 事業内容

「ハンガリー現代陶芸展 (仮称)」の開催

会 期：令和5年4月22日 (土) ～ 7月2日 (日) (62日間)

会 場：岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリー I

企画趣旨：ブダペスト国立工芸美術館所蔵作品を中心に、オブジェから実用陶磁器を含む幅広いハンガリー現代陶芸作品を展覧。

(3) 県負担・補助率の考え方

(4) 類似事業の有無

- 「アジア陶磁デルタプロジェクト じゃんけんぽんの考えかた 一勝ち負けのない共存展」

平成19年度に多治見（岐阜県）、利川（韓国）、鶯歌（台湾）の東アジア3地域(陶磁器産地)による国際相互交流展(巡回展 韓国→台湾→当館)を開催。

予算：16,569千円、入館者数：2,707人、日数：56日、作品数：195点

- 「台湾現代陶芸の力 台湾・新北市鶯歌陶磁博物館所蔵作品による」展

本館と新北市立鶯歌陶磁博物館（台湾）は平成17年に「文化交流に関する覚書」を締結。締結後、予算の都合により当館として連携事業の計画が困難であったが、平成31年度に人的交流を再開したのを機会とし、両館の連携を深め、相互交流の交換展開催事業を計画する。令和元年度11月には新北市鶯歌陶磁博物館からの招聘により当館学芸員が渡航し、現地調査研究を行った。その成果を反映し、令和3年度に当館で同館コレクション展を開催。

予算：22,800千円 入館者数：6,776人、日数：35日、作品数：90点

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	300	謝金
旅費	1,140	職員旅費、講師等費用弁償
需用費	1,821	展示用消耗品、会議費、配布用図録印刷
役務費	884	通信運搬費
委託料	41,142	作品輸送、展示等業務委託料
使用料	167	会場借上料
合計	45,454	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

R5年度のハンガリー現代陶芸展の開催を通じ、岐阜・ハンガリー間の陶磁器文化交流を行う。他国文化の紹介によって県民や陶磁器関係者の知的好奇心に応え、長期的な視点でさらなる陶磁器文化の発展に資する。また、相互交流を通じて岐阜県の陶磁器文化を世界的に発信することで、当地域の陶磁器文化の知名度の向上や、波及効果としての地域振興・観光振興に寄与する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
① 入館者数		29,138	31,200	33,100		114%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	当館が組織目標として標榜する「県民の陶芸美術に関する知識・教養の向上及び県陶磁器産業の発展のため事業を推進し、加えて地域振興・観光誘客を強化する」に合致する。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業のため、具体的な成果はまだあがっていない。 ・展覧会開催準備が、陶磁器文化に関わる国際的な人的ネットワークを形成につながっている。当館および当地域文化の国際的なPRを行うことができた。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	ハンガリーブダペスト国立工芸美術館との連携を強化することで協力体制を築き効率化を図っていく。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 当館が陶芸文化を海外へ発信してくためには、コレクションの充実が必要である。また県の陶磁器産業や当館との類似の陶芸館と連携することが重要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 将来のハンガリーでの当館収蔵作品の展覧会に向けて、令和6年度以降も継続して人的交流を進める必要がある。したがって、当館の今後の展開のためにも、本事業は継続すべき事業である。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】